

平成29年度事務事業評価シート(28年度実績)

◎基本情報

事務事業名	消防施設耐震化整備事業		担当部署	消防本部 消防総務課	
総合計画体系			根拠法令 計画など	建築基準法	
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり	事業 期間	開始	平成 <input type="text" value="26"/> 年度
政策(中項目)	1	安心して暮らせるまち なんと			終期
(小項目)		消防			
施策	2	消防体制の充実			
基本事業	2	消防力の強化			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理														
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	本市の消防団詰所のうち、現行の耐震基準を満たしていない31分団詰所及び大麻分署 大規模災害発生に備えた消防団拠点施設を整備するため、消防団詰所で耐震基準を満たしていない建物を対象に、消防団詰所・大麻分署の耐震化整備を実施する。														
事業計画	28年度に何を計画していたか	【耐震診断】里浦北、里浦仲、三ツ石、池高分団 【耐震設計】大代、三ヶ谷分団 【改築工事】川東分団														
成果目標	事業目標の達成度合	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>耐震化着手数</td> <td>10</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>棟</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	耐震化着手数	10	7	7	12	12	棟
指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位										
耐震化着手数	10	7	7	12	12	棟										

◎実施結果(DO)

事業実施内容	28年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	①耐震診断は、詰所整備計画に基づき副団長会で説明、該当分団長等へ説明を行った。 ②大代分団の改築設計は、地元分団員へ説明し、団員からの要望を伺い調整を行った。 ③川東分団は、詰所完成までの期間中(年末夜警等)において、消防活動に必要時は集会所を借用できるよう調整を行った。					
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
指標名		27年度実績	28年度実績	29年度目標	30年度目標	31年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1 耐震診断	7	4	5	2	0	棟
	2 耐震設計	1	2	1	10	2	棟
	3 耐震工事	2	1	1	1	10	棟
成果指標 対象にどのような効果があつたか示す指標	耐震化着手数	10	7	—	—	—	
	目標達成率(実績/目標)	100.0		—	—	—	%
今年度の進捗状況	計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり		(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成28年度	当初予算額	2,057	0	63,300	0	2,545	67,902
		補正予算額	0	0	△ 30,400	0	6,200	△ 24,200
		繰越予算額	1,273	0	0	0	2,550	3,823
		全体予算額	3,330	0	32,900	0	11,295	47,525
		決算額	2,945	0	32,900	0	6,242	42,087
		繰越額	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員(7,133千円/人)	臨時職員(2,043千円/人)		総人件費		総事業費	
		0.4	0.0		2,853		44,940	

事業費推移	年度	27年度決算	28年度決算	29年度	30年度	31年度
	事業費	71,600	42,087	77,700	未定	未定
	うち一般財源	3,306	6,242	77,700		
	人件費	1,715	2,853	2,853		
	総事業費	73,315	44,940	81,696		

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値	所見欄
①活動に対する評価	有効性	A:有効性があった	各地区ごとの旧耐震構造・老朽化の著しい詰所から耐震化することで、消防団員の安全確保と地域防災力の強化となる。
	効率性	A:効率的だった	消防団担当者が無駄な事業費をかけず、効率よく耐震化計画に基づき実施した。
②成果に対する評価	指標名	耐震化着手数	
	目標	7	棟
	実績	7	棟
	評価	A:目標を達成できた	
③総合的な評価		<b>A</b>	
		目標通り達成したことから、A評価としたい。	

◎今後の方向性(ACTION)

課題	平成31年度までの3年間で全ての分団詰所を整備予定であるが、耐震診断等、補助金の充当状況により計画遅延の可能性あり。また、再編についても地元の理解が得られない場合等には計画の遅延や変更も想定される。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	<b>3</b>
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	平成29年度	平成29年度 【耐震診断】 南浜、斎田、野・黒山、小海・日出、姫田分団 【改修設計】 里浦仲分団 【改築工事】 大代分団			
	平成30年度	平成30年度 【耐震診断】 大幸、段関分団 【耐震設計】 南浜、斎田、野黒山、小海・日出、姫田、矢倉、吉永・中江、徳長・長江、折野、板東分団			